



The R&A

St Andrews, Fife

Scotland KY16 9JD

Tel: +44 (0) 1334 460000

Fax: +44 (0) 1334 460152

www.randa.org

www.opengolf.com

2011年9月14日

製造業者 宛

ゴルフクラブ内部の電子機器についての新ガイドライン

2009年11月に R&A と USGA は、距離計測器を含むラウンド中の電子機器の使用に関する共同声明を発表しました。とりわけ、その文書では、距離計測器の使用はローカルルールによるのみ、また距離を計測する目的でのみ認められると述べました。さらに、距離以外のパラメーターを測定することができるそうした機器は、たとえそのローカルルールの下でも使用が認められません。

加えて、その文書は「そうした機器を現在のラウンドを始める前に解析された前のラウンドの距離情報（例えば、すべてのクラブの飛距離チャートなど）にアクセスするために正規のラウンド中に使用することは認められる。」と述べていました。ご参考までに、2009年の共同声明を添付します。

R&A と USGA は、ゴルフクラブの内部に組み込まれた電子機器（そうした電子機器は距離計測器のような二次的な機器と一緒に使用されることを意図されている）に関する規則を明確にすることを要請されてきました。これに応じて、R&A と USGA は次のガイドラインを作成しました：

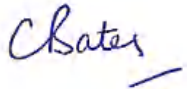
クラブの識別のみを目的としているシャフトやグリップの内部や表面に組み込まれた電子機器は認められる場合がある。識別情報は次のものに限定される：

- (a) クラブの所有者の住所や電話番号などに関するもの；
- (b) 在庫追跡情報；
- (c) ラウンド中のそのクラブの使用履歴の検知

そのような機器はその他のすべてのゴルフ規則と関連するガイドラインに適合していなければならない。規則やガイドラインでは明確にカバーされていない機器の特徴はケースバイケースで評価されることになる。しかしながら、認められない特徴は振動したり、発光したり、音を出す機器を含む（これに限定されない）。その機器が識別以外の機能をいかなるものでも有することができる場合、そのゴルフクラブは伝統と慣習にしたがった形状と構造とはみなされず、したがって、不適合となる。クラブヘッド内部や表面への電子機器は引き続き禁止される。

注：そうした機器を組み込んだクラブと一緒に使用されるいかなるシステムも距離計測器の使用を認めるローカルルール（ゴルフ規則 14-3 注と付属規則 I (B) 9 項参照）と、R&A と USGA のこの電子機器に関する共同声明に適合していなければならない。

このガイドラインやその適用について質問がある場合は、どうぞご連絡ください。この新しいガイドラインの詳細は次版の「クラブと球についての規則ガイド」に収録するつもりであり、それは2012年の前半の発行を現在予定しています。

A handwritten signature in blue ink that reads "CBates" with a horizontal line underneath.

CLAIRE BATES

Assistant Director – Equipment Standards

S2011GCM

R&A/USGA 距離計測器を含む電子機器についての共同声明

はじめに

ゴルフ規則の統轄団体として、R&A ルールズリミテッド (“The R&A”) と全米ゴルフ協会 (“USGA”) はゴルフ用具に関する規則についての「原則の共同声明」を 2002 年 5 月に発表しました。こうした原則は依然としてゲームにとって有意義であり、7 年前に原則の共同声明が発表されてからの統轄団体の行動を導く上で極めて有益であることが分かりました。

それ以来、ゲームのプレーにおける用具技術の進化の影響はゴルフクラブとゴルフボールを超えて、電子機器、特に距離計測器まで及ぶようになりました。R&A と USGA はこの話題が幅広いコメントと多くの対立する見解を集めてきたことを承知しています。技術の進化がもたらすゴルフ関連用具の進歩を予測することは、不可能ではないにせよ、困難であることは歴史が証明してきました。スポーツの整合性を維持することを目的とした明確に連結している原則に照らしてそうした進化を判定することは、ゴルフが魅力的であり続けるために最も重要なことです。

距離情報

歴史的な文脈において、ゲームはゴルファーが距離情報を利用できる方法の漸進的発達を見守ってきました。クラブ選択が人間の判断の問題であったころから、ヤーデージブックやホールロケーションシートの使用、そしてコース上のマーキングを参照することは著しく増加してきました。つい最近では、距離計測器の使用はより広まりました。

R&A と USGA は距離計測器の使用を 2006 年 1 月に初めて認めました。それより前は、ヤーデージブックの使用は認められていたものの、距離計測器の使用は規則 14-3 で禁止されていました。2006 年に導入された変更により、競技やコースを統轄する委員会は距離計測器の使用を認めるローカルルールを制定することを許可されました。この許可の重要な条件は、機器は距離だけを計測するものでなければならないということです；風速や風向、地面の傾斜や気温などのその他の条件を計測するものであってはなりません。

規則とその目的

距離情報の提供の進歩を受け入れるものの、R&A と USGA は距離計測器の規則について考えるときに気を緩めることはありません。用具規則と同様に、こうした規則の目的はゴルフの良き伝統を守り、プレーヤーの技量よりも用具の技術的進歩に過度に頼りすぎることの抑制し、プレーヤーの技量がゲームを通しての主要な成功の要素であることを確保することです。ヤーデージブックの使用やコース上のマーキングを通じて得ることができるのと同じ情報を提供する距離計測器の使用を認めることは、ゲームをプレーするために必要な技術レベルを減じるとはみなされません。

R&A と USGA は距離計測器をローカルルールによって認めるという現行の方式が妥当であると考えています。現在の状況において、R&A と USGA はこの方式が変更されるということをサポートしていませんし、R&A と USGA のどちらもそれぞれの選手権競技でこのローカルルールを採用する予定はありません。

規則の明確化

ゴルファーに追加的な情報（例えば、次のストロークをどのように行うのかを決定する際にゴルファーの援助となるかもしれないもの、あるいは、その他の点でゲームのプレーに

影響するかもしれないもの)を提供することができる多機能な機器の出現は比較的最近の出来事です。誤解を避けるために、統轄団体はそうしたすべての機器を認めることがゴルフ規則にとって必要あるいは妥当であるとは考えていません。下記のポイントは規則がどのように適用されるのかを明確にしています。

1. 距離計測器(主要な機能が距離を計測することである機器)はローカルルールが制定されている場合にだけ引き続き使用することができる。
2. ローカルルールが制定されている場合、距離計測器は距離だけを計測するものに限定されなければならない。次の場合、距離計測器の使用は規則の違反となる。
 - ・ その機器がプレーに影響するかもしれないその他の条件(例えば、風速、勾配、温度など)を計測したり、測定する能力を有している。
 - ・ その機器がクラブ選択やプレーするショットの種類(例えば、パンチショット、ピッチエンドランなど)、あるいはグリーンを読むこと(すなわち、推奨するパットの線)、その他のアドバイス関連事項のようなストロークを行うときやプレーにおいてプレーヤーの援助となるかもしれない勧告を含む(これに限定されない)他の何らかの不適合の特徴を有している。しかしながら、そうした機器を現在のラウンドを始める前に解析された前のラウンドの距離情報(例えば、すべてのクラブの飛距離チャートなど)にアクセスするために正規のラウンド中に使用することは認められる。
 - ・ 2点間の距離の実効距離(すなわち、勾配、風速そして/あるいは風向、温度、あるいはその他の自然要素を考慮した後の距離)を計算することを支援する能力を有している。

上記のすべての特徴について、そうした機能のスイッチを切ることができたり、取り外すことができる場合で、実際にスイッチを切っていたり、取り外していたとしても、規則違反となる。

3. 携帯電話、PDAなどの多機能機器(すなわち、主として通信装置であるが、潜在的な他の使用方法を有しているかもしれないもの)は下記のように使用することができる。
 - ・ 倶楽部やコースのレギュレーションとアドバイス関連事項にアクセスすることについての規則(裁定14-3/16参照)を条件として、ゴルフに関係のない目的(例えば、電話をかけたり、携帯メールや電子メールを送付する通信手段として)でその機器を使用することができる。
 - ・ ローカルルールが制定されている場合、特定のアプリケーションが「距離だけ」に限定されており、その機器がその他の「不適合の特徴」を有していないことを条件として、距離計測のアプリケーションを使用することができる。そうした他の特徴が使用されていなかったとしても、この条件は変わらない。上記にあるように、アドバイスに関連した通信についての規則は依然として適用される。

まとめ

R&AとUSGAは現行の規則と解釈の範囲を超えて電子機器の使用を認めるつもりはありません。このことは距離計測器とアプリケーションは距離情報だけに限定されるということの意味しています。距離計測目的で使用されている機器が追加的な特徴を有している場合、そうしたすべての特徴はゴルフ規則に適合していなければなりません。

距離計測の製品を扱うすべての製造業者は、その機器やアプリケーションを裁定のために適切な統轄団体に提出することを奨励されます。